

歯科医療考えるTV番組

協会制作で12月3日スタート

大阪府保険医協会 おおとどける
大阪府歯科保険医協会

寺谷一紀の医療どお〜ナル

医療の?? 私が探ります。

好評放送中! サンテレビで 毎水曜日 夕方5時45分〜

■12月放送分 「保険でよい歯科医療の実現を」
■1月放送分 「急増する、子どもの無保険」
2月以降も身近な医療問題を取り上げていきます。ぜひご覧下さい。

今号に同封している番組紹介のポスター

歯の大切さと制度の矛盾

患者・国民の目線で編集

医療に対する患者さんの疑問や、話題の問題から医療制度を考える新しいコンセプトの医療番組「医療どお〜ナル」歯科版を協会が制作し、その放送が12月3日から、サンテレビ(36CH)で始まる(毎週水曜・午後5時45分から)。

歯科版は、08年12月、09年3月・6月・8月に放送予定で、月ごとに内容が変わる。第1回目は、歯の大切さや、保険の利かない歯科治療が多くある原因など制度の矛盾について、また政府の低歯科医療費政策を分かりやすく患者・国民の目線で解説する。

出演している寺谷一紀アナウンサーは、保団連の医療研究会で司会を務めるなど、協会ともつながりが深い。

医療版の放映は、すでに9月から始まっている。視聴率によると1日に20万世帯が番組を見た日もあり、マスコミからも問い合わせがあるなど、医療問題についての番組は関心が高い。

今後は、混合診療や、入れ歯・歯周治療などを取り上げる予定である。

第19回理事会

来年予算にむけ会員署名 12月中旬まで 5割の目標で

協会は8日、第19回理事会を開き、①社会保障費自然増の2200億円削減を要めること②後期高齢者医療制度を廃止すること③歯科の低診療報酬を改善すること④歯科の保険のきく範囲を広げること⑤介護保険への国庫負担を増額し介護報酬を引き上げること―を求める会員署名を来年度政府予算案の編成に向

け、12月中旬までの期間に開業医会員の5割を目標に取り組むことなどの運動対策を決めた。

会員署名は協力者氏名を連名にして、麻生首相、中川財務大臣、舛添厚生労働大臣をはじめ地元国會議員や中協委員などに要請する。

2200億円削減を求め、社会保障費を拡充することは医療・歯科

医療界にとどまらず、患者・国民の共通した願いになっている。この流れを大きくするため、診療所窓口で使える患者への宣伝材料づくりを検討する。

2010年の診療報酬改定で争点になる混合診療拡大、補綴外しについては、現在取り組んでいる地区主催の「セミナー」で問題の根本には歯

科の低医療費政策と高い窓口負担による受診抑制があり、その二つを改善する必要がある。来年2月22日には混合診療問題、審査・指導、レセプトオンライン義務化などで会員学習会を開くことにした。この日は、映画「シッコ」の上映会と感想を交流する懇談会も開く。

歯科医療の問題を国民に訴えるため、サンテレビで毎週水曜日の午後5時45分から協会提供の番組を放送する。歯科の初回放送を12月3日に控え、理事会当日、会員の

診療所を借りてロケを行ったことが報告された。レセプトオンライン義務化をめぐる来春を目途に会員署名を行うことにし、オンライン義務化の問題をまとめたパンフレットを会員に配ることを決めた。

大阪府政をめぐっては、老人・乳幼児・障がい者・ひとり親家庭の医療費助成制度の1割負担化撤回や審査・指導の民主化、訪問診療時の駐車禁止除外などを求めて、12月18日に府と交渉する。理事会では会員の交渉参加を募っている。

朝7時27分新大阪発ののぞみに上京、衆・参議院会館を何度も往復し、3人の議員と直接面会できた。

私も「小額の給付金をいただくより、70歳以上の定額所得の、年金だけで生活されている人たちの医療費を無料にしてくださる方が、安心して医

療を受けられ元気に長生きをしていただける。現状では、特に高齢者は早期発見・早期治療は無理で、病気になるば死になさいと言われている」と、直接議員に訴えることができた。

自分の思いを国会に届けることができ、非常に有意義な体験となりました。

(城東区・辻本和子)

◆ ◆ ◆
(今回の要請先・敬称略)
【面談議員】
(民主) 馬淵澄夫(衆)
・辻泰弘(参、(共産))
・穀田恵二(衆)・吉井英

【面談拒否】
谷口隆義(公・衆)

療を受けられ元気に長生きをしていただける。現状では、特に高齢者は早期発見・早期治療は無理で、病気になるば死になさいと言われている」と、直接議員に訴えることができた。

自分の思いを国会に届けることができ、非常に有意義な体験となりました。

(城東区・辻本和子)

後期高齢者医療制度 「廃止して欲しい」の訴えに 「声を直接政府に届けたい」と穀田氏



会員から寄せられた「後期高齢者医療制度廃止法案の衆議院の可決」を求める患者署名を受け取る、穀田氏(左端)＝13日、衆議院会館

主共済の適用除外―などを求めて要請した。

協会からは、下井戸昭介副理事長、小山榮三理事・相談役、古田光行監事、辻本和子氏(歯科衛生士)、事務局らあわせて6人が衆・参国会議員事務所を訪れた。また、「共済の今日の未来を考える大阪懇話会」から、矢野正文氏が同行した。

協会の要請団と懇談した、衆議院・共産党国会対策委員長でもある穀田恵二議員は、「臨時国会で委員会審議が始まり、後期高齢者廃止法案の審議をしてほしいと与党に言っているが、児童福祉関連法案の審議が先になりそう。2兆円の定額給付金ははらまきであり、まず社会保障予算の

2200億円削減を元に戻すべきだ。そのほうが景気対策になる。はるかに効果的だ」と述べた。

協会要請団からの「歯科医療の立場としても、年金のみで暮らしている高齢者から保険料が天引きされた上で、医院で一部負担金を払ってもらうことはたいへん心苦しい気持ちでいっぱいになる。後期高齢者医療制度は、ぜひ廃止してほしい」との訴えに同氏は、「みなさんから伺った声を直接政府に届けたい」と答え、署名の紹介を快く引き受けた。

会員から寄せられた「後期高齢者医療制度廃止法案の衆議院の可決」を求める患者署名2420筆は、穀田恵二議員(衆・共産)、辻康弘議員(参・民主)、石井郁子議員(衆・共産)に託した。

◆ ◆ ◆
(今回の要請先・敬称略)
【面談議員】
(民主) 馬淵澄夫(衆)
・辻泰弘(参、(共産))
・穀田恵二(衆)・吉井英

療を受けられ元気に長生きをしていただける。現状では、特に高齢者は早期発見・早期治療は無理で、病気になるば死になさいと言われている」と、直接議員に訴えることができた。

自分の思いを国会に届けることができ、非常に有意義な体験となりました。

(城東区・辻本和子)

4面に次期総選挙候補者アンケート結果

社会保障費2200億円削減撤回医療改善に緊急施策求める署名

みなさんのご協力をお願いします

協会は、社会保障圧縮・構造改革路線から転換するために、会員署名に開業医会員比5割の目標で取り組んでおります。

ぜひご協力をお願い致します。(署名用紙を協会までFAXください)

歯界

秋も徐々に深まり、御堂筋も黄色に色づき銀杏の独特な香りが鼻をつく。秋の夜長には、自宅ですくるとDVD鑑賞や読書に似しむ様子が似つかわしいのではないだろうか。

11月26日はペンの日である。文筆従事者によって組織された日本ペンクラブがその創立日にちなんで制定したそう。

ペン(PEN)は、文字を書く道具であるというだけでなく、詩人(POETS)、劇作家(PRAYRIGHTS)、随筆・評論家(ESSAYS)、小説家(NOVELISTS)をそれぞれにあらわしているらしい。

アメリカでは、イラク戦争を泥沼化させて世界の非核化への動きを阻害してきたブッシュ政権が終焉をむかえ、「チェンジ」のスローガンのもとで「核兵器のない世界」を掲げたオバマ氏が、大統領選挙で圧勝した。

協会でも署名の取り組みを進めるなど、国際世論は世界の非核化にむけて待ったなしの状態である。「ペン」は剣よりも強い。はもはや、戯曲中だけの言葉ではない。